

京都大学生存圏研究所

吉野郡、中川貴文理事（長）でウォールスタックトマスターの資格を取得した者が行う。Sグレードは設計性能値で、このほかに耐力壁以外の小壁（垂れ壁、腰壁）、内外装材などを含むより実態に近い実態性能としてRグレードの評価も行っている。

応力解析・検定機能も強化

$$U \subseteq \mathbb{R}^n$$

また、今回のバー

の建築基準法改正によ

ないが、表形式を整え
使いやすいものにして
いきたい」と話してい
る。

ウォールスタットは25年度の使用実績が500棟以上。26年度は住宅会社大手2社の全棟採用が予定されており、4000棟以上の使用を見込んでいる。

ウォールスタット・グレードのイメージ（「ヤマベの木構造」より）

に对应。応力解析・検定機能の強化も行った。

で、中川准教授は「今回のバージョンアップで構造計算書を出せる機能を追加した。そのまま建築確認には使え

Journal of Interpersonal Violence 26(10) 1978–1997
© The Author(s) 2011
Reprints and permissions: <http://www.sagepub.com/journalsPermissions.nav>